

【MagExtractor -Viral RNA-トラブルシューティング】

(1) 磁性ビーズがうまく分注されない

原因	対策
磁性ビーズの沈降による固化	ボルテックスを行って均一になるまで懸濁させてください。なお、懸濁後は、速やかに(10分以内に)抽出をスタートするようにしてください。
蒸発による磁性ビーズ懸濁液成分の濃縮、結晶化	今後のトラブルを防ぐために、2mLチューブに残ったビーズは廃棄してください。また、保存の際や短時間でも放置される場合には、ボトルやチューブのフタを強く締めるようにしてください。

- その他の機器動作に関するトラブルシューティングは、MFX-2000/2100の取扱い説明書にも記載していますので、そちらのほうもあわせてご覧ください。

(2) 磁性ビーズが凝集し、ほぐれない

原因	対策
サンプル過剰	サンプルを過剰に処理した場合、粒子が凝集し、正常に抽出できない場合があります。また、凍結融解を繰り返したするなど、サンプルによっては、100mLでも凝集がみられる場合があります。サンプル量を減らした条件で再度検討してください。
セット試薬の不足	MFX-2000/2100で自動抽出する際に、試薬のセット量が少なかった場合、抽出が正常にできない場合があります。抽出チューブに試薬が残っているかを確認してください。

(3) 回収RNA溶液が着色する

原因	対策
磁性ビーズの混入	磁性ビーズが回収液に混入すると回収液が茶色く見えることがあります。回収液を軽く遠心して、上清をご使用ください。

(4) RT-PCRがうまくいかない

原因	対策
磁性ビーズの混入	磁性ビーズがRT-PCR反応液に混入すると反応を阻害することがあります。回収液を軽く遠心して、上清をご使用ください。
RNAの分解	過剰のサンプルを用いて抽出したRNA溶液にはRNaseが残存することがあります。サンプル量を減らした条件で再度検討してください。
PCR増幅産物の混入	水、正常血清等をサンプルとしたネガティブコントロールにバンドが見られる場合は、以前に増幅したPCR増幅産物のコンタミが考えられます(キャリーオーバーコンタミネーション)。抽出を行うエリア、PCR反応溶液を調製するエリア、検出(電気泳動等)を行うエリアを区別し、抽出及び反応溶液を調製するエリアにPCR増幅産物を持ち込まない等の対策を講じてください。